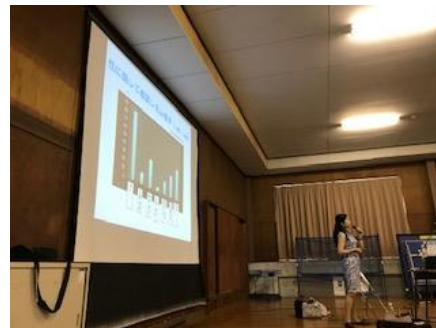


咲江先生による「性に関する健康教育」が実施されました！

4月25日(木)に、咲江レディースクリニック院長(名古屋市千種区)の丹羽咲江先生(産婦人科医)をお招きし、2年生を対象に「性に関する健康教育」を行いました。診察を通して多くの女性に関わっている咲江先生のお話はとてもリアルで、みんなも真剣に、いつもとは違う表情で話を聞いていましたね。雑誌やネットに書かれていること、友達や先輩から聞いたことを信じてしまいがちな皆さんに、咲江先生からの正しい情報はとても有用だったと思います。

咲江先生の願う「自分を大切に、素敵な大人になる」ことを目指して、保健室もサポートしていきたいと思っています。



×デートDVって?×

- ◇ 身体的暴力(殴る、蹴る、物を投げるなど)
- ◇ 精神的暴力(ひどい言葉で傷つける、おどす、監視する、行動を制限するなど)
- ◇ 経済的暴力(お金をたかる、借りたお金を返さないなど)
- ◇ 性的暴力(キスやセックスを強要する、避妊しないなど)

♡恋愛のおきて♡

「相手は自分のものではない」ことを前提に

- 嫉妬の権利はない
- すべて知る権利はない
- 別れ話に同意はしない
- 異性の友だちオッケー

◆「性感染症にかかったかも?」と思ったら...

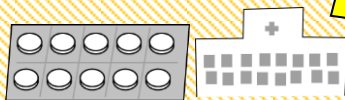
相談・受診先 男子⇒泌尿器科
女子⇒産婦人科

- 自分だけでなく、パートナーと一緒に検査を受けることが大切です。(治療ももちろん一緒にね!)
- HIV検査は保健所で、無料でやっています!(匿名でできます)



◆ピルについて

- ・産婦人科で処方してくれます(ひと月¥2,000前後、学割があるところもあります)
 - ・避妊方法でもありますが、**月経周期が安定する**
月経血の量が少なくなる
月経前のイライラを抑える
などのメリットがあります。
- ※「太る」「将来妊娠できなくなる」ことは決してありません!



*緊急用ピルについて

「コンドームが破れた」など避妊の失敗がおこったとき、「レイプされてしまった」とき、婦人科を受診すると処方してくれます。72時間以内に服用する必要があります。

◆性感染症にかからないために(実験がありましたネ)

- コンドームを使用する
- 不特定多数の人とSEXしない
- 性感染症にかかっていないか検査を受ける
いちばん確実なのは、「SEXしない」こと。

◆望まない妊娠を防ぐために

- ×膣外射精(いわゆる外出し)はかなり危険
- ×コンドームの避妊率は85%です
最初から最後まで、正しく着ける。

避妊効果が高いのはピルですが、100%の避妊法はありません。

・・・今妊娠しても本当に困らない?
あなたを大切に思っているのなら、
あなたの「イヤ」を受け入れてくれるはず。

心配なとき、不安なとき、困ったときは、
大人に相談しましょう!(保健室でもお待ちしています)

咲江先生のお話を聞いて

(生徒の感想を抜粋しました)

- ・自分たちが「奇跡の存在」であることを教えてもらいました。
- ・対等な関係で性関係を持つことの大切さを再確認しました。100%避妊できる方法はないから、お互いにちゃんと知識を増やして、いつか大人になったときに困らないようにしたいです。
- ・性の話を聞くとイヤらしい、恥ずかしい話かなと思うけど、楽しく話を聞けました。これから先の自分のためになるお話でした。
- ・咲江先生の講演はとても分かりやすかったです。水の交換実験では、性感染症の広がりがよくわかりました。まだまだ知らないことがあり、とても勉強になりました。
- ・ピルとコンドームのダブルブロック!
- ・「大丈夫大丈夫」と言う男の人は、絶対信じないようにしたいです。「つけろや」って言えるようにしたいです。
- ・「3か月以上生理が来なかったら受診してください」と先生が言っていたので、受診します。